

◆農業の振興

昨年10月に世界人口が70億人を突破し、地球規模での食料不足・水不足が懸念される状況の中、人間にとり生命産業である農業の国際競争力の向上をめざし、今後とも「攻め」の姿勢で農業構造の体質強化に取り組みます。

さらに、全国に先駆けて推進してきた農業の「総合6次産業化」については、「西条農業革新都市総合特区」の指定を受けたことを機に、地元農業関係者、産業界、行政が協同でつくりあげる農業活性化モデルとして、地域経済を牽引する「総合6次産業都市」の実現につなげます。

◆食の創造

豊かな自然に育まれた西条産品の高付加価値化、販路拡大、商品開発を進めるとともに、地元野菜ソムリエとの連携により魅力ある「食」の情報を発信します。



▲「西条農業革新都市総合特区」の指定を受けたことを機に、地域経済を牽引する「総合6次産業都市」の実現をめざします。
(写真：昨年11月の「株式会社サンライズファーム西条開所式」の様子)



▲教育・研究交流協定を締結している大学等との連携により、「フィールド大学事業」を推進します。
(写真：京大大学院・小林正美教授と東予高校生による防災木製シェルターの共同制作)

◆産業観光の開拓

当市の「水・食・農」や「地域産業」の魅力を生かした産業観光の開拓に取り組みるとともに、石鎚山系の豊かな自然、西条まつり、鉄道歴史パーク in S A I J O など、西条のいいものを積極的に情報発信し、交流人口の拡大を促進します。

◆林業の振興

「木製都市構想」の下、交流協定を結んでいる大学等との能動的な連携によりゼミナールを開催するなど、人材育成と森林資源の活用に取り組みます。また、去る2月8日に、東京都港区と「間伐材を始めとした国産材の利用促進に関する協定」を締結したところであり、これを西条産木材の販路拡大に限らず、西条の魅力为首都圏を經由して全国へ情報発信できるチャンスと捉え、積極的に取り組みます。(8ページに関連記事)

◆水産業の振興

漁場環境の保全、魚介類の種苗放流による水産資源の増大、水産加工品のブランド化支援等を進めます。

◆商業の振興

商工関係団体との連携を強化し、地域特性を活かした商業の活性化や各地域に形成された商店街を核とする、活気あふれるまちづくりに取り組みます。

◆雇用対策

依然として経済情勢が厳しい中、「緊急雇用創出事業」を早急に実施するとともに、関係機関との密接な連携の下、合同就職面接会を開催するなど、就業機会の創出と地元企業の人材確保を支援します。

積極的な人事交流による多彩な人材育成

『西条は、まちのすべてが、学びのキャンパス』の基本理念の下、当市の恵まれたフィールドを活かした「西条フィールド大学事業」を推進し、大学等との教育・研究交流を通じて培われた知恵と工夫をもって、「人、もの、情報が集う魅力あるまちづくり」すなわち、「西条の魅力のすべてがブランドとなる戦略」を積極的に展開します。また、合併10年を視野に入れ、それぞれのまちが持ち寄った良さを再発見し、西条の魅力を総合的に活かしたまちづくりを推進します。

新庁舎建設については、平成23年度に実施している基本設計等を基に、着実に推進します。

さらに、激変する社会情勢の中で、市役所がより一層「市民の皆様の役に立てるところ」となるよう、市職員の意識改革と能力増強に努めるとともに、国際感覚豊かなグローバル人材育成のため、外務省へ職員を派遣するほか、国との新たな人事交流の輪を広げ、多彩な人材育成を進めます。

以上、平成24年度の市政運営につきまして、私の所信の一端を申し述べました。大震災からの復旧・復興、日本経済の再生の中、当市におきましても依然として厳しい経済情勢に直面しておりますが、それにひるむことなく、今後もスピード感と、さらなるチャレンジの姿勢をもって、諸施策を着実に実行し、西条の元氣アップを進めてまいります。

さらに、西条の輝く未来を担う「人づくり」と「しくみづくり」、そして「人と人」「組織と組織」等のつながりを大切にしながら、「チーム西条」の力を信じ、子どもたちの笑顔と市民の皆様一人一人の幸せにつながるまちづくりに、ぶれることなく、勇気をもって前進してまいります。

議会の皆様方をはじめ、市民の皆様方の温かいご理解と一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。